

## 自由記述より

各項目後に設けた記述欄に記載されたご意見について、学校側の対応も含めてご報告いたします。

- 家庭学習の習慣が身に付いていない子供が中学校の宿題の量に果たしてついていけないのか不安があります。

本校では、「自分から」ということで、家庭学習についても3年生以上では、自分で宿題の内容と量を決めて取り組んできました。また、学校づくり会議では、「家庭学習の在り方」や「理想のおうち時間の過ごし方」などを児童、保護者、職員で話し合ってきました。これからも家庭学習やおうち時間の過ごし方の振り返りを行い、家庭学習の習慣が身に付くようにしていきたいと思います。また、今後は中学校の職員とも連携をとり、子供たちが中学生になったときも、自ら学んでいけるように小学生のうちに必要な力を付けていきたいと思います。

- 夏に通学路の心配な箇所の調査があり、心配な場所を記入したと思うのですが、学校はどんな判断をされたのか気になっています。

通学路点検では、保護者の方々にも大変お世話になりました。夏休み中に、職員も担当箇所の通学路点検を行いました。危険と思われる箇所については、写真を撮るなどして、職員で共有しました。危険箇所については、必要に応じて子供たちに指導をしたり、教育委員会に連絡をして対応をしていただいたりしています。子供たちが安全に学校に通えるよう、今後も危険等お気づきのことがありましたら、学校まで連絡をいただけたらと思います。

- 読書の日も宿題をやらなくていい日にしか捉えていないと思うので、必要ないと思います。

読書は、語彙力や読解力を養うだけでなく、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするといった子供たちがこれから生きていくために必要な力を身に付ける効果があります。しかし、読書の習慣が身に付いていると答えた児童は、昨年度よりも減少しています。読書の日も習いごとがあつて読書ができない児童や遊んでしまつてほとんど読書をしない児童もいるようです。読み聞かせや図書館の積極的な活用、読書の日や家読の日の在り方の改善を通して、生涯にわたって読書を楽しめる習慣づくりを行っていききたいと思います。

- この他にも、学校からの通知や、目の健康、運動量など、たくさんのご意見をいただきました。保護者の皆様や保育所、中学校、教育委員会と連携し、全職員で諸問題の解決に努めていきますので、これからも理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。